

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
392	八幡町市民館管理経費	01	一般会計	03	民生費
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	03	03	同和行政総務費
			02		隣保館費
担当部課名	人権政策部 八幡町市民館		102		隣保館管理経費
作成者氏名	安永 幸二	連絡先	23 - 3157	01	八幡町市民館管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	館対象地区住民及び周辺地域住民	地域住民の生活支援と自立促進を推進するとともに、同和問題に向けた解決や取り組みが人権社会確立全体に大きく寄与する。
本年度事業内容	八幡町市民館、久米町市民館、木興町市民館及び第1～6生活館の管理経費 隣保館運営費補助金事業の実施	
運営主体	直営 (委託先:)	民間委託等
市内の類似施設	根拠法令・要綱等 伊賀市隣保館条例	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
支出内訳 (千円)	事業費(B)	19,042	18,969	18,969
	委託料			
	報酬	5,365	6,102	6,192
	委託料	1,308	1,438	1,438
	その他	12,369	11,429	11,429
合計(A+B)		22,642	22,569	22,569
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金	20,417	20,364	20,364
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	63	65	65
一般財源		2,162	2,140	2,140
上記 ~	に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
相談事業の実施	件	1426	1450	1450			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
会議室等の利用状況	地域住民に多く利用される施設をめざすなかで、会議室の使用状況を指標とした	回	98 目標 ()	100	110
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

実効ある事業の推進とともに効率的な運営について、地域の実情を考慮するなかで関係機関団体等との協働を視野に入れて考えていきたい。

評価	必要性	4	部落解放の拠点として地域に密着したコミュニティセンターとしての機能を果たしていく中で、地区市民センター等の関連施設との連携を考えながら、現状を維持していきたい。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	2		